

BIMを活用した建築設計について

— 県立あすなろの郷建替工事 —

事業の目的・概要

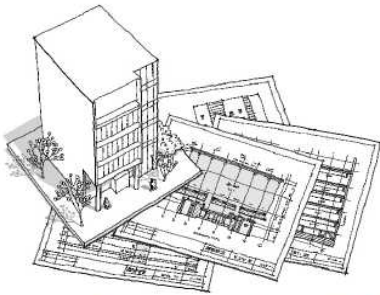
BIM (Building Information Modeling) とは...

3次元の建物モデルをつくるシステム。

その他にも、室等の名称・面積、材料・部材の仕様・性能、仕上げなど、建物の属性情報を付加できる。

現在の主流 (CAD)

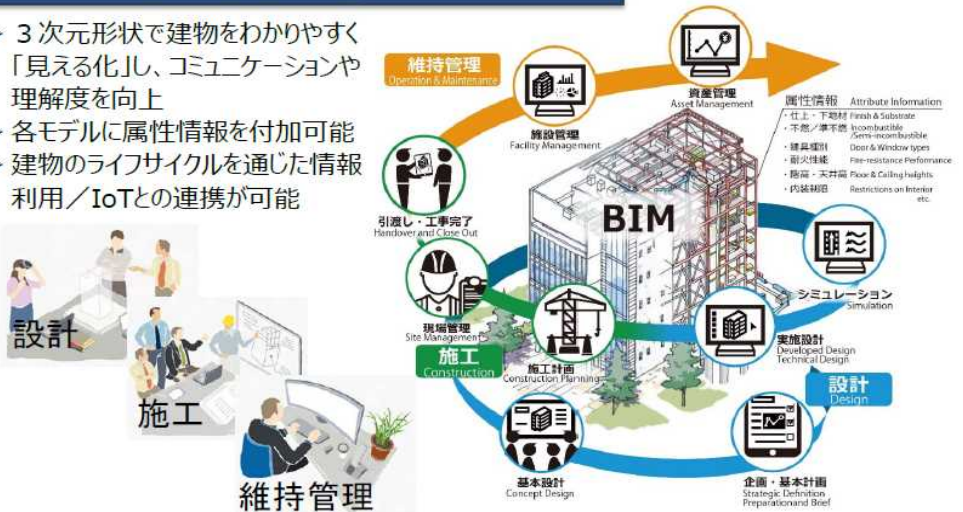
- 図面は別々に作成
- 壁や設備等の属性情報は図面とアナログに連携
- 建設後の設計情報利用が少ない



平面図・立面図・断面図／構造図／設備図

BIMを活用した建築生産・維持管理プロセス

- 3次元形状で建物をわかりやすく「見える化」し、コミュニケーションや理解度を向上
- 各モデルに属性情報を付加可能
- 建物のライフサイクルを通じた情報利用/IoTとの連携が可能



※建築BIM推進会議「建築分野におけるBIMの標準ワークフローとその活用方策に関するガイドライン(第2版)」(令和4年3月)より引用

対象施設：
県立あすなろの郷

・令和5、6年度に
建替工事を実施予定

・業務効率化による
生産性向上等を目的
としてBIMを導入

○病院・医療ケア支援施設
[階数・構造]地上2階建
RC造一部S造
[延べ面積] 約13,200㎡

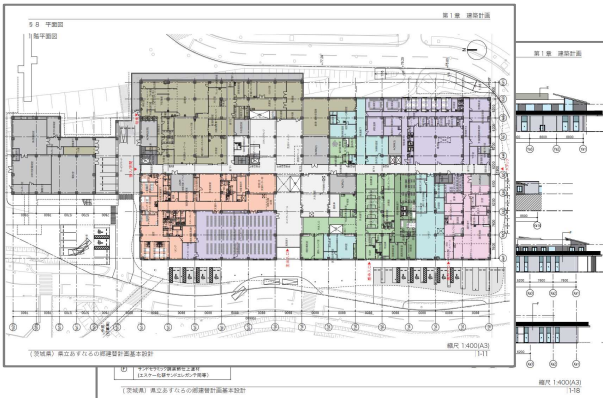
○強度行動障害支援施設
[階数・構造]地上1階建 木造
[延べ面積] 約5,300㎡



鳥瞰パース

BIM活用効果

2次元で打合せしていたため
完成イメージが共有しづらかった...



導入後

3次元モデルで
打合せ段階から
イメージ共有!

